

第
279
回

第
280
回

日本 センチュリー 交響楽団

才人・鈴木優人が定期初登壇！
フランスのエスプリ薫る魅惑のプログラム

久石が魅せる究極のエンターテインメント！
色彩豊かなドビュッシー、華麗なる「展覧会の絵」

指揮：久石 譲
Joe Hisaishi / Conductor
©s.yamamoto

チェロ：宮田 大
Dai Miyata / Cello
©日本コロムビア

指揮：鈴木 優人
Masato Suzuki / Conductor
©Marco Borggreve



© s.yamamoto

2024 2/9 (金) 19:00 開演
(18:00 開場)
ザ・シンフォニーホール

ドビュッシー：小組曲
C. Debussy: Petite Suite

ドビュッシー：交響詩「海」
C. Debussy: "La mer", Three Symphonic Sketches

ムソルグスキー(ラヴェル編曲)：組曲「展覧会の絵」
M. Mussorgsky(Orchestrated by M. Ravel): Suite "Tableaux d'une Exposition"

一般発売日 2023年10月16日(月)

2024 3/15 (金) 19:00 開演
(18:00 開場)
ザ・シンフォニーホール

メシアン：忘れられた捧げもの
O. Messiaen: Les Offrandes oubliées

矢代 秋雄：チェロ協奏曲
Akio Yashiro: Concerto for Cello and Orchestra

サン=サーンス：交響曲 第3番 ハ短調 作品78
「オルガン付き」
C. Saint-Saëns: Symphony No. 3 in C minor, Op.78, "Organ"

一般発売日 2023年11月27日(月)

ご予約・お問合せ センチュリー・チケットサービス TEL. 06-6848-3311 (平日10:00~18:00)

送迎バス 学生年間パス 25 対象公演

スペシャルスポンサー

フレンドシップパートナー

主催：公益財団法人日本センチュリー交響楽団 <https://www.jcso.or.jp/>

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（創造団体支援））
独立行政法人日本芸術文化振興会

●未就学児入場不可 ●やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

地主株式会社 旭酒造株式会社
JINUSHI Co., Ltd.

GAMBA OSAKA

オフィシャルスポンサー
栄光ホールディングス株式会社 / MKC MKSIV-T / 株式会社エムス住建設 / ONKYO / kaneka / 共栄法律事務所 / KINCHO / TheSymphonyHall / 新コスモス電機株式会社
TCG 高松JASTラッシュソングルーフ / S Shadow / TAKUMA / TOYO TIRES / Hankyu / THE HILTON PLAZA / Phoxter / 三井住友信託銀行

日本センチュリー交響楽団 第279回・第280回定期演奏会

第279回定期は、2025年4月から当団音楽監督に就任を予定している久石マエストロがタクトをとりまします。

ドビュッシーの豊かな色彩感と美しいメロディーに彩られた「小組曲」と、繊細な煌めきから大きなうねりまで様々な表情を見せる交響詩「海」。そしてムソルグスキーの代表作「展覧会の絵」では、久石&センチュリーならではのパフォーマンスにご期待ください！シーズン最後の第280回定期は、鈴木優人マエストロが定期初登場！フレンチプログラムのフルコースをお届けします。メシアン初期の作品に始まり、協奏曲では日本を代表する気鋭チェリストの1人、宮田大をソロに招いて、矢代秋雄の代表作に挑みます。メインはサン＝サーンス「オルガン付き」。壮大な音絵巻を、旬のマエストロがどのように料理するのか、またセンチュリーの音をどのように引き出すのか、会場でお確かめください。

指揮：久石 譲

Joe Hisaishi / Conductor



国立音楽大学在学中よりミニマル・ミュージックに興味を持ち、現代音楽の作曲家として出発。1981年「MKWAJU」を発表、翌年に1stアルバム「INFORMATION」を発表し、ソロアーティストとして活動を開始。84年の映画「風の谷のナウシカ」以降、宮崎駿監督作品の音楽を担当するほか、「HANA-BI」「おくりびと」「悪人」「かくや姫の物語」「家族はつらいよ」など、話題作の映画音楽を多数手掛け、日本アカデミー賞最優秀音楽賞、2009年紫綬褒章受章など数々の賞に輝く。演奏活動においては、04年7月、「新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ(W.D.O.)」の音楽監督に就任。また2017年から「Joe Hisaishi Symphonic Concert: Music from the Studio Ghibli Films of Hayao Miyazaki」の世界ツアーをスタートし、パリ、メルボルン、ロサンゼルス、ニューヨーク、プラハ等で開催し、大成功を収める。近年は「交響曲第2番」や「Metaphysica(交響曲第3番)」などの作品発表にも意欲的。海外では香港フィル、ロンドン響、メルボルン響、アメリカ響、シンガポール響などの指揮を執る。14年より、世界の最先端の「現代の音楽」を紹介するコンサート・シリーズ「MUSIC FUTURE」を始動。19年7月、新プロジェクトとして「フューチャー・オーケストラ・クラシックス(FOC)」をスタートさせ、同年「久石譲 ベートーヴェン:交響曲全集」をリリースし、第57回レコード・アカデミー賞特別部門特別賞を受賞。

23年6月、クラシック名門レーベル、ドイツ・グラモフォンから宮崎駿監督作品への提供曲を新たにシンフォニック・アレンジしてロイヤル・フィルと収録した「A Symphonic Celebration」を全世界で発売、アメリカ・ビルボードチャートで1位を獲得する等話題を呼んだ。

国立音楽大学招聘教授。20年9月に新日本フィルハーモニー交響楽団Music Partnerに就任。25年4月から日本センチュリー交響楽団音楽監督に就任予定。

指揮：鈴木 優人

Masato Suzuki / Conductor



東京藝術大学卒業及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。令和2年度(第71回)芸術選奨文部科学大臣新人賞、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第18回ホテルオークラ音楽賞、第29回(2021年度)渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。パッサ・コレギウム・ジャパン(BCJ)首席指揮者、読売日本交響楽団指揮者/クリエイティブ・パートナー、アンサンブル・ジェネシス音楽監督。2023年4月より関西フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者に就任。指揮者としてNHK交響楽団、読売日本交響楽団等と共演するほか、22年4月にはドイツ・ハンブルク交響楽団に客演。鈴木優人プロデュース・BCJオペラシリーズ、モンテヴェルディ:歌劇「ボッペアの戴冠」(2017)、ヘンデル:歌劇「リナルド」(2020)ではバロック・オペラの新機軸として高く評価され、後者は第19回佐川吉男音楽賞を受賞。2022年5月のグルック:歌劇「オルフェオとエウリディーチェ」(勅使川原三郎新演出)で新国立劇場に指揮者として初登場。23年10月には自身のプロデュースシリーズ第3弾としてヘンデル:歌劇「ジュリオ・チェザレ」を兵庫、東京、横浜にて上演し絶賛を博した。24年2月にはモーツァルト(魔笛)をBCJと共にORCHARD PRODUCE 2024にて上演予定。NHK-FM「古楽の楽しみ」にレギュラー出演するほか、テレビ朝日系列「題名のない音楽会」などメディア出演も多い。録音はBCJとのJ. S. パッサのチェンバロ協奏曲集(BIS)、タメスティとのデュオ(Harmonia Mundi)など多数。調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー。作曲、編曲はもとより、パッサの消失楽章の復元も多数手がける。ブルーノート東京にも定期的に出演するなど、その活動に垣根はなく、各方面から大きな期待が寄せられている。九州大学客員教授。

Twitter / @eugenesusuzuki

Facebook & Instagram / masatosuzukimusic

チェロ：宮田 大

Dai Miyata / Cello



2009年ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールにおいて、日本人として初めて優勝。これまでに参加した全てのコンクールで優勝を果たしている。その圧倒的な演奏は、作曲家や共演者からの支持が厚く、世界的指揮者・小澤征爾にも絶賛され、日本を代表するチェリストとして国際的な活動を繰り広げている。

スイスのジュネーヴ音楽院卒業、ドイツのクロンベルク・アカデミー修了。

録音活動も活発で、2022年に「ラフマニノフ:チェロ・ソナタ」をリリース。2019年はトーマス・ダウスゴー指揮、BBCスコティッシュ交響楽団との共演による「エルガー:チェロ協奏曲」をリリース。欧米盤が、欧州のクラシック界における権威のある賞の一つ「OPUS KLASSIK 2021」において、コンチェルト部門(チェロ)で受賞。

そのほか「Piazzolla」「Travelogue」など計7枚のアルバムをリリース。マスメディアでも「題名のない音楽会」「徹子の部屋」「クラシックTV」などへ出演している。

近年は国際コンクールでの審査員や、ロームミュージックセミナーの講師を務めるなど、若手の育成にも力を入れている。

使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1698年製A. ストラディヴァリウス「Cholmondeley」である。

管弦楽：日本センチュリー交響楽団 街に響く。心に届く。

Japan Century Symphony Orchestra / Orchestra

1989年に活動を開始し、大阪府・豊中市を拠点に活動するオーケストラ。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザー、久石譲が首席客演指揮者を務める。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。2度にわたり大阪府文化祭奨励賞を受賞する(2015年度、2018年度)など、その高水準な演奏は高い評価を得ている。

オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。

「優れた演奏により地域の力を発信する」「オーケストラによる感動と癒しを提供する」「優れた才能を発掘し次世代の育成に寄与する」「国際相互理解や平和に積極的に貢献する」の4つの理念をもとに、本拠地・豊中から日本中へ多くの人々の心に明るい夢が広がることを願い、活動している。2024年12月に楽団創立35周年を迎える。

オフィシャルホームページ <https://www.jcso.or.jp>



チケット取扱い

●各回
A席 6,500円 / B席 5,000円 / C席 3,500円 / D席 1,500円

○センチュリー・チケットサービス

TEL.06-6848-3311 (平日10:00~18:00)

<https://www.jcso.or.jp/ticket/>

日本センチュリー 検索



○ザ・シンフォニーチケットセンター TEL.06-6453-2333 (11:00~16:00 火曜休)

○チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード: 232-824 (#280)

○e+ (イープラス) <https://eplus.jp/> (#280のみ)

○ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード: 54442 (#280)

●未就学児入場不可 ●やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

※第279回は、プレイガイドでのお取扱いはございません。

シンフォニー定期演奏会場 送迎バス運行中!

●区間: 大阪駅~ザ・シンフォニーホール間の送迎 ●運行回数: 開演前と終演後 各2便ずつ ●乗車運賃: 一回100円 *定期会員様は無料でご利用いただけます。(U-35席除く)